

<題材> **整理・整とんで快適に**

開隆堂(教科書 p.28~p.31)

～5年生のみなさんが、家庭で実践する際の安全性と、まず自分の身の回りを見つめることができることを大切に、本題材を休校期間に位置付けました。～

<めあて> **なぜ整理・整とんをするのかを考えよう。**

1 教科書 p.28の写真を見て、快適に過ごすために、どのような整理・整とんをすればよいでしょうか。

①～⑥の場所の問題点や困ることを見つけましょう。また、その理由を書きましょう。

問題点や困ること	理由
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

2 教科書 p.28～31を読んで、()にあてはまることばを書きましょう。

- (1) 身の回りが(①)されていると、(②)に過ごせませんが、かたづいていないと物を(③)したり(④)したりするためにより多くの(⑤)がかかる。また、(⑥)たり、思わぬ(⑦)をしたりしてしまうことある。
- (2) 物をどのように使うかを考え、使う(⑧)や使い方によって分け、(⑨)な物を残すことを(⑩)という。
- (3) 整理したものを(⑪)、見た目も美しくかたづけることを(⑫)という。

3 教科書p.29を参考にして、自分の身の回りの場所やものに目を向け、整理・整とんの必要な場所やものを調べてみよう。また、その理由を考えよう。自分以外にも使う人がいる場所やものは、その人とも一緒に理由を考えよう。

整理・整とんが必要な場所やもの	理由
①	
②	
③	
④	
⑤	

4 学習の振り返り

① 今回の学習で大切にしたい生活の見方・考え方は ……

② 教科書の写真や自分の身の回りの場所やものを見つめたり、理由を考えたりして、どのようなことに気付きましたか。

【やってみよう】

調理をする時だけでなく、日々の手洗いが大切です。

教科書 p.11を見て、手洗いの仕方を確かめましょう。QRマークがあるところは、インターネットを活用した学習ができるようになっていきます。お家の方に相談して、活用しましょう。

<題材> **整理・整とんで快適に**

開隆堂(教科書 p.28~p.31)

<めあて> 場所やものを使いやすくするためには、どのような工夫ができるかを考えよう。

1 教科書 p.30~31の「整理・整とんの手順」を見て、整理・整とんをしよう。それぞれの手順について、実際に取り組んだことや気付いたこと、工夫したことを書こう。

整理・整とんの手順	取り組んだこと・気付いたこと・工夫したこと
<p><u>見つける</u> ・整理・整とんが必要なところを見つける。</p>	<p>整理・整とんをする場所・もの ()</p>
<p>(1) <u>見通しをもち、計画を立てる</u> ① 道具箱の中にある物を確認する。 ② どのように整理・整とんするかを考える。 →図に書いたり、相談したりして見通しをもつ。 ③ さらに工夫できそうなことを考える。</p>	
<p>(2) <u>整理する</u> 「必要な物」と「必要でない物」に分類する。</p>	
<p>(3) <u>整とんする</u> 物の置き場所を決める。 ・同じ種類の物をまとめる。 ・よく使う物は、取り出しやすい場所に置く。 ・あまり使わない物は奥に置く。 ・仕切りや小箱を使って区切る。</p>	
<p>(4) <u>使う、もどす</u> ・使ったら整とんしたときのように、もとの場所にもどす。 ・さらに工夫できる点がないかを考える。</p>	
<p>(5) <u>見直し、つづける</u> ・整理・整とんして使いやすくなったか、きれいになったかをふり返る。 ・安全に使うことができるかを考え、整理・整とんの習慣をつけ、続ける。 ・しばらくたったらどうなっているかふり返り、整理・整とんができなかったら、その原因を見つけて工夫しよう。</p>	

2 学習の振り返り 「整理・整とんする前は、・・・」この続きを書いてみましょう。

整理・整とんをする前は、

<題材> 物を生かして住みやすく

東京書籍(教科書 p.50~p.53)

～5年生のみなさんが、家庭で実践する際の安全性と、まず自分の身の回りを見つめることができることを大切に、本題材を休校期間に位置付けました。～

<めあて> 身の回りを気持ちよい場所にするために必要な仕事を見つけよう。

- 1 教科書 p.50の写真を見て、困ることは何かを見つけましょう。また、改善策を考え、気持ちのよい部屋にするためにはどうしたらよいか、下の表にまとめましょう。

困ること	改善策
①	
②	
③	

- 2 自分の身の回りや生活の場を見つめて、困っていること(もの・場所)やよりよくしたいこと(もの・場所)を見つけましょう。また、その改善策を考えましょう。自分以外にも使う人がいるものや場所は、その人とも相談をして改善策を考えましょう。

困ること・よりよくしたいこと	改善策
①	
②	
③	

- 3 学習の振り返り

- ① 今回の学習で大切にしたい家庭科の窓(見方・考え方)は・・・()
- ② 教科書の写真や自分の身の回りや生活の場を見つめたり、改善策を考えたりして、どのようなことに気が付きましたか。

<題材> 物を生かして住みやすく

東京書籍(教科書 p.50~p.53)

<めあて> 整理・整とんの必要性が分かり、適切な仕方を考え、手順にそって実践しよう。

- 1 教科書 p.52~53を読んで、()にあてはまることばを書きましょう。
- (1) ① ()をしておく部屋がかたづけられ、身の回りの物の② ()やどこに何があるかが③ ()なるので、④ ()なときに④ ()な② ()だけ取り出すことができる。
- (2) かたづいていない部屋では物を⑤ ()しまったり、⑥ ()をしてしまったりすることがある。
- (3) 身の回りの物を見直し、必要でないものを取り除いて整えることを⑦ ()という。
- (4) 整理できたら、物を置く場所を決める。物を使いやすい場所に置くことを⑧ ()という。
- 2 教科書 p.52~53の「整理・整とんの手順」を見て、整理・整とんをしよう。それぞれの手順について、実際に取り組んだことや気付いたこと、工夫したことを書こう。

整理・整とんの手順	取り組んだこと・気付いたこと・工夫したこと など
<p>(1) <u>計画する・準備する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使いやすくしたい所など改善したい所を考え、整理・整とんする所を決める。 →実際に整理・整とんをする所 () ・ 計画する。 →図に書いたり、相談したりして、見通しをもつ。 	
<p>(2) <u>整理する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りの物を確認する。 ・ 「必要な物」と「必要でない物」に分類する。 ・ 迷う物があったら、すぐに決めずに決められるまで別の場所に置く。 	

整理・整頓の手順	取り組んだこと・気付いたこと・工夫したこと など
<p>(3) <u>整とんする</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族が使いやすいようにさらに分類して、置き場所を決める。 ・決めた場所に物を置く。 ・使う場面、使う回数、大きさや形、重さ、色などを考えて置く。 	
<p>(4) <u>ふり返る</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理・整とんして気付いたこと、これからの生活や物の選び方、買い方、使い方に生かす。 ・使いやすい状態が続くように心がける。 <p>→整理・整とんを行ってから1週間後にふり返ってみる。</p>	

3 学習の振り返り 「整理・整とんする前は、・・・」この続きを書いてみましょう。

整理・整とんをする前は、

【やってみよう】

- ① 日々の整理・整とんは、防災にもつながります。教科書 p.52の「日々の備え」を読み、□にチェックしましょう。
- ② 日々の手洗いが大切です。教科書 p.143を見て、手の洗い方を確かめましょう。Dマークがあるところは、インターネットを活用した学習ができるようになっています。お家の方に相談して、活用しましょう。